

学校統廃合か小規模校存続か――

少子化による学校小規模化の課題と対応のポイントがわかる!

# 少子化に対応した 学校教育充実の 処方箋

進む  
学校の小規模化に  
どう向き合うか

高橋 興 [著]

## 本書の紹介

少子化による児童生徒数の減少で、学校の適正規模・適正配置をめぐる諸課題の対応を迫られる多くの自治体。学校統廃合を進めるか、統廃合に代わる取組みを進めるか、そのメリット・デメリットを慎重に検討し、子どもたちや地域住民にとって最適な方策をとるには?!

全国の小規模校対策に取り組む学校管理職・教育委員会・自治体職員 必携の書。

▶ **学校の小規模化に対応した取組みを始めている注目すべき事例を紹介。**  
統廃合のデメリットを最小化する取組み、統廃合せず小規模校の存続を目指す取組み、統廃合できない学校による取組み etc.

▶ **小規模校対策として今後何ができるか、どのような施策が有効か、など自治体、教育委員会等が課題に取り組む際の参考になる情報を提示。**  
地方創生、地域活性化やまちづくり等に関連する施策のヒントにも!



A5判・定価(本体2,000円+税) 送料300円

※送料は2018年9月時点の料金です。

ともに未来へ  
125  
th  
anniversary

株式会社 ぎょうせい

## 目次

### 第1章 国による適正規模・適正配置対策の経過

- 1 国が学校統廃合の推進に積極的な姿勢
- 2 国が学校統廃合に慎重な姿勢へ転換
- 3 外部から高まる学校統廃合を求める声
- 4 国が再び学校統廃合推進へ転換

### 第2章 事例からみた小規模校対策の実例

**事例1 統廃合のデメリットを最小化しようとする取組み事例—その1—**  
〔佐賀県多久市〕～統廃合を契機に、小中一貫→CS→義務教育学校へ段階を踏んで実現した取組み～

**事例2 統廃合のデメリットを最小化しようとする取組み事例—その2—**  
〔栃木県小山市〕～統廃合を契機に、既存校舎を活用して義務教育学校の設置を実現した取組み～

**事例3 統廃合を想定しデメリットを社会教育で減少させることを目指す事例**  
〔島根県益田市〕～統廃合を想定し、校区の公民館を核とした地域の教育環境整備を目指す取組み～

**事例4 統廃合せず存続させることを目指す事例—その1—**  
〔兵庫県美方郡香美町〕～「小規模校の良さ」を生かした積極的な学校間連携の取組み～

**事例5 統廃合せず存続させることを目指す事例—その2—**  
〔長野県南佐久郡北相木村〕～民間学習塾と提携した山村留学制度により唯一の小学校存続を目指す取組み～

**事例6 統廃合せず存続させることを目指す事例—その3—**  
〔熊本県阿蘇郡高森町〕～CS、小中一貫教育から義務教育学校、ICT活用などで存続を目指す取組み～

**事例7 統廃合せず存続させることを目指す事例—その4—**  
〔愛媛県新居浜市〕～英数に特化した少人数制の教育課程により学区外からの入学者獲得で中学校存続を目指す取組み～

**事例8 統廃合できない学校による取組み事例—その1—**  
〔徳島県阿南市〕～県と鳴門教育大の共同研究を生かし、ICTの利用による分散型小中一貫教育を進める取組み～

**事例9 統廃合できない学校による取組み事例—その2—**  
〔長崎県五島市奈留地区〕～小中高一貫教育で校種の違う3校すべての存続を目指す実践例～

### 第3章 小規模校における望ましい教育環境整備の方策と課題

- 1 「はず」「べき」論を超えた適正規模・適正配置論議の必要性
- 2 統廃合に代わる取組みの可能性や持続性等に関する議論深化の必要性
- 3 地方創生など広い視野からの適正規模・適正配置対策の実施が大切
- 4 都道府県の「適正規模・適正配置は市町村の問題」との発想転換を

## 著者紹介

### 高橋 興 [たかはし こう]

青森中央学院大学経営法学部教授。秋田県生まれ。  
青森県立高校長や県生涯学習課長、県総合社会教育センター所長などを経て現職。  
文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員、同省学校支援地域活性化推進委員会委員、国立教育政策研究所プロジェクト研究「初等中等教育の学校体系に関する研究」委員などを歴任。2016年4月から文部科学省コミュニティ・スクール(CS)マイスターを務める。  
主な教育関係の著書として、単著に『学校支援地域本部をつくる』『小中一貫教育の新たな展開』、共著に『学校と地域でつくる学びの未来』『地域社会・家庭と結ぶ学校経営』『学校教育法実務総覧』『地域との新たな協働を図る学校づくり』『震災からの教育復興』『校長入門』『コミュニティ・スクールの全貌』など。

## 商品に関するご照会・お申し込みは

フリーコール(通話料無料)  
電話受付時間：平日9時から17時

TEL: 0120-953-431  
FAX: 0120-953-495



URL: <https://shop.gyosei.jp>

### ■個人情報の取り扱いについて

【利用目的】 ご注文に関するお客様への連絡、配送、代金の請求及びメール等による商品の案内に利用させていただきます。

【第三者提供】 お預かりした個人情報の第三者への提供はありません。

【委託】 利用目的の範囲内で業務を行うために、個人情報の取扱いを委託する場合があります。

【個人情報提供の任意性】 個人情報の提供はお客様の任意となりますが、商品のお届けなどに誤りが生じないよう、正確にご記入願います。

【開示等の求めに応じる手続】 利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加又は削除、利用の停止、消去等をお求めの際は、次の窓口にお問い合わせください。

【個人情報相談窓口】 株式会社ぎょうせい 出版営業部 営業課 電話 03-6892-6562 受付時間 平日9時～17時

【個人情報保護管理者】 情報管理担当執行役員



キリトリ線

申込書	上記「個人情報の取り扱いについて」に同意し、下記図書を申し込みます。			年	月	日
	<b>少子化に対応した学校教育充実の処方箋 進む学校の小規模化にどう向き合うか</b>					部
	A5判・定価(本体2,000円+税)送料300円 コード 5108460-00-000 少子化学校					
	お届け先 ご住所	〒	—	都道 府県		
	(フリガナ) お名前	(ご担当部署名: _____)			ご担当者名: _____	(印)
TEL	—	—	e-mail	@		
お得意様No.	(ご存知の場合は ご記入ください)	□□-□□□□□□□□	支払費	<input type="checkbox"/> 公費	<input type="checkbox"/> 社費 <input type="checkbox"/> 私費	

※送料は2018年9月時点の料金です。

●弊社使用欄

ともに未来へ  
**125**<sup>th</sup>  
anniversary

株式会社 **ぎょうせい**

〒136-8575 東京都江東区新木場1-18-11  
TEL: 0120-953-431 / FAX: 0120-953-495

URL: <https://shop.gyosei.jp>

(2018.9)

ISBN978-4-324-10547-4 コード 5108460-00-000 少子化学校